



# KAMO Junior High School NEWS



鴨志田中学校通信

鴨志田中学校  
鴨中PTA

職員室より

## 1学期を振り返って

副校長 高橋 陽子

本当に暑い日々が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？本校では先週より個人面談が行われました。保護者の皆様にはお暑い中ご来校いただき、誠にありがとうございます。お子様の成長にとって大切なお話がきつとなされたことと思います。また、いただいたご意見等は真摯に受け止め、対応してまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

7月16日(日)には鴨志田緑小学校を会場に「2023 鴨志田夏祭り」が4年ぶりに開催されました。皆様も行かれましたか？当日は大盛況でした。本校としましては、美術部がポスターとチラシのデザイン制作という形で参加しました。2種類のデザインがあり、チラシは抽選券にもなっていたので皆様のお目にふれる場面も多かったと思います。当日の舞台では吹奏楽部が演奏しました。今、流行りのYOASOBI「アイドル」を演奏する場面では、ダンスもあり、皆様にとっても喜んでいただきました。祭りのご準備にあられた実行委員会の皆様、ありがとうございました。とても楽しかったです。これからも本校は地域の皆様とともに歩んで参りたいと思います。

さて、1学期も終わりますが、生徒の皆さんにとってはどんな1学期でしたか？本校では昨年から少しずつ新型コロナウイルス感染症予防対策をしながら、学校生活の様々な面で活動の充実や復活をはかってきました。しかしながら、以前と全く同じ、という形ではありません。できることを、できる範囲で最大限やる、と模索しながらやってきた中で、教育課程や行事のあり方等においては、色々と考え直さなければならぬ場面、より良い方法を新たに見つけ出さなければならぬ場面もありました。現在も多角的に見直して、本校の教育課程をはじめ、行事、部活動のあり方等々をより良いものにしていくために、教育課程委員会の先生たちを中心に検討を続けています。

この1学期を振り返ってみますと、5月に3年生は修学旅行に、2年生は鎌倉遠足に無事に行くことができました。その時、その場所でしかできない体験や感動を通して、多くの学びがあったことと思います。6月には体育大会を実施しました。その前後の日は雨だったのに、当日はお天気に恵まれました。学年の枠を超えて円陣を組み、励まし合い、応援し合う姿が見られ、私たちはとても感動しました。熱い青春の思い出をみんなと一緒に作る事ができたと思います。その他にも日々の学習活動、授業、定期テスト、委員会活動、部活動など生徒のみなさんの頑張りどころはそれぞれにあったと思います。1学期の終わりにあたり、自分自身を冷静に見つめ直し、次のステップに向けて夏休みを有効に使ってください。勉強、運動、趣味、おうちのお手伝い、地域のお手伝い、読書、料理 etc...なんでもいいですから「今年の夏休みはこれを精いっぱいやったぞ！」(語尾は「ぞ！」でなくてもいいんですけど...)と言える夏休みにしてください。くれぐれも自分の命を、健康を第一に大切に、明るく元気に生活してくださいね。2学期に皆さんにまた会えることを楽しみにしています。



## PTA よいお知らせ

- ★リサイクル標準服・ジャージ等ありましたら、学校または鴨志田郵便局さんにお持ちください。特に大きいサイズが不足しています。購入希望の方はPTA役員または担任・副校長先生にご連絡ください。
- ★夏休み期間中、地域の夏祭りが開催されます。行かれる保護者様には防犯の観点から、本校の「パトロール中ネームホルダー」の着用をしていただくと助かります。ご協力お願いいたします。

## ● 国際平和スピーチコンテスト

山内地区センターにて、国際平和スピーチコンテストが行われました。鴨志田中学校からは、2年2組の田嶋ゆりさんが出場しました。

本番では、堂々とした発表で、自分の考えを伝えることができました。

### 「私の考える平和」

「なぜ?」。私は、その戦争に疑問をもちながらニュースを見ていました。

あれから1年以上が経った今、ロシアとウクライナの戦況を伝えるニュースは日常的になり、それに慣れてしまっている自分に気づき、怖さを感じました。

「戦争の足音が聞こえる。」という言葉があります。それは私が感じた不安と似ている気がしました。

私には、戦争を指揮する人や、賛成する人の心理は理解できません。でも、そういう人たちも、生まれたときは純粋な赤ちゃんだったはずで、ということは大人数になっていく過程での環境や教育、人間関係や社会情勢など、さまざまな要因で、人は善人にも悪人にもなれるということなのではないでしょうか。争いのない未来を築くには、どうしたらよいのでしょうか。

こんな言葉もあります。「私には教育を受ける権利があります。遊ぶ権利も。歌う権利も。市場へ行く権利も。声をあげる権利も。」この言葉は、パキスタン出身の人権活動家、マララ・ユフザイさんの言葉です。私がマララさんのことを知ったのは小学5年生のときの国語の授業でした。自分がよいと思った名言を見つけて発表するという課題で、私はマララさんの本に出会いました。改めてその言葉の意味を考えたとき、ウクライナで戦争禍にいる子どもたちや貧困が理由で学校に通えない子どもたち、また他の理由で教育を受けられない子どもたちは、それらの権利を奪われているということに憤りを感じました。私に何ができるだろう。答えはまだ見つかりませんが、その答えに近づく努力はできるかもしれません。

私の将来の夢は子どもにたずさわる仕事に就くことです。その理由は、私は子どもが好きで一緒にいて楽しいからです。そして少しでも子どもたちが幸せを感じながら明るい未来を信じて成長できるようにサポートできたら・・・と思っています。

そこでまず大事なことは子どもの個性を尊重し、寄り添いながら信頼関係を築き、保ち続けることでしょう。それは大人同士、国同士でも言えると思います。自分の価値観、常識だけでは相手との距離は埋まりません。相手をよく知ろうと努力し、相手の立場になって考え続けることが大切です。平和とはそうしたお互いの違いを理解しようとする気持ちの上で成り立つものではないでしょうか。

私は私の知らないことがあふれている世界でこれから少しずつ、多様な価値観や文化に触れて心を耕す努力をします。

誰もが互いを認め合う平和な世界を願って。

## ● 学校家庭地域連携事業 地域懇談会

7月4日、鴨志田中学校にて地域懇談会が行われました。学校職員と保護者の方々、鴨志田学区の地域の方々にご参加いただき、「地域の小学生・中学生への想い」をテーマに話し合いました。

参加していただいた皆様、ありがとうございました。今後とも、鴨志田中の子どもたちの健全育成と安全安心のために、ご理解とご協力のほどよろしくお願いたします。

